

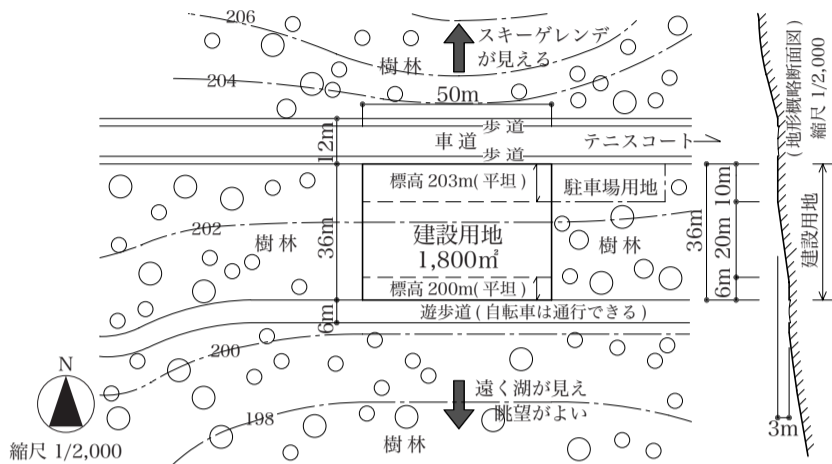
# 練習課題 4 小規模なりゾートホテル

## I. 設計条件

この課題は、ある地方のスキー場に程近い景勝地において、四季を通してさまざまな楽しめる滞在型リゾートホテルを計画するものである。  
本施設は周囲の良好な景観を取り入れるとともに、建築敷地内の高低差を有効に活用するものとする。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 建設用地の北側平坦部分と道路、南側平坦部分と遊歩道との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 建設用地は、都市計画区域及び準都市計画区域外の区域内にあるが、景観保全のため主要な屋根は2/10以上の勾配屋根とする。
- 電気、上下水道は、完備している。
- 地盤の状況は、表土(地表から-1.5mまで)直下の地層はN値=20以上の固結シルト層(地表から-1.5m~-7m)であり、圧密沈下及び液状化の可能性はない。
- 冬場の積雪は1m程度であるが、-10℃以下となることはない。



### 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,500㎡以上、2,900㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積	
・宿泊客の定員は50名とし、各宿泊室にはバルコニーを設ける。 ・共用部門の利用者用各室と大浴室、休憩室については日帰り客の利用も可能とする。				
宿泊部門	宿泊室A (洋室・4人室)	・6室計画する。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、ライティングテーブル、収納等を設ける。	各約60㎡ 計約360㎡	
	宿泊室B (洋室・2人室)	・9室計画する。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、ライティングテーブル、収納等を設ける。	各約30㎡ 計約270㎡	
	宿泊室C (洋室・2人室)	・車椅子利用者用とする。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、ライティングテーブル、収納等を設ける。	適宜	
	宿泊室D (和室・12畳)	・浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、床の間、押入れ、収納等を設ける。		
	談話コーナー	・10人程度が利用できるソファースセットを設ける。		
		洗濯室	・コインランドリー形式とする。	
		自販機コーナー		
リラクゼーション部門	大浴室	・男性用、女性用として、それぞれ10人程度が利用できるようにする。 ・サウナを設け、脱衣室にはロッカー、洗面コーナー、便所を設ける。	各約90㎡ 計約180㎡	
	休憩室	・大浴室の入浴後に利用でき、畳スペース(12畳以上)、水屋、収納、板の間を設ける。	適宜	
	自販機コーナー			
	貸し自転車庫	・自転車10台を収納できる。		
	フィットネスルーム	・フィットネスのほかマッサージ、エステ、エアロビ等多目的に利用でき、器具倉庫を設ける。	約130㎡	
	娯楽室		約40㎡	
共用・管理部門	エントランスホール1	・1階とし、観光案内コーナー、風除室を設ける。 ・上部に30㎡以上の吹抜けを設ける。	適宜	
	エントランスホール2	・地下1階に設ける。		
	レストラン	・60人程度が利用できるよう椅子、テーブル、レジ、厨房を設ける。		
	喫茶コーナー	・20人程度が利用できるよう椅子、テーブル、カウンターを設ける。	適宜	
	ラウンジ	・15人程度がくつろげるよう、ソファースセットを設ける。		
	セミナー室	・2室に分割して利用できるようにする。		
	スーベニアショップ	・みやげ物、地域の特産品等を販売する。		
	事務室	・4人分の事務スペースを確保する。		
	フロント	・受付カウンターを設ける。		
	仮眠室	・フロントと行き来できる。		
更衣・休憩室	・男性用、女性用として2室設ける。			
設備スペース (設置階は適宜)	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給湯・給排水衛生、循環ろ過、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。			
・便所、エレベーター、リネン庫、ごみ庫、倉庫及び通用口については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。				

### 3. その他の施設等

- オープンスペースは次のとおりとする。
  - 地上に設けるものとし、100㎡以上とする。
  - レストラン又はフィットネスルームから行き来できるものとする。
- 大浴室専用庭園(100㎡以上)を地上に設け、大浴室から行き来できるものとする。
- 駐車場は、車椅子利用者用として1台分、サービス用として1台分、送迎車用(3.0m×6m)として1台分及び車寄せを設ける。なお、利用者用及び従業員用の一般車等の駐車については、建設用地東側の駐車場を利用するものとし、徒歩連絡口を設ける。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物は特別特定建築物としてバリアフリー法の円滑化誘導基準に配慮する。なお、1階の床高は北側前面道路に対し+1mとする。
  - 宿泊部門、リラクゼーション部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とともに、宿泊部門の独立性に配慮する。
  - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とともに、日射の遮蔽に配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 斜面地を考慮した建築物の耐震性に配慮する。
  - 地盤状況に配慮し、基礎方式を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空気調和設備、給湯・給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
  - 太陽熱、地中熱、井水、植栽等を利用するなどし、環境負荷低減に配慮する。

## II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示してもよい。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階(又は地下1階)平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図は建設用地北側の配置図を兼ねるものとする。 ② 地下1階平面図は建設用地南側の配置図を兼ねるものとする。 ③ 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等(宿泊室A、B、C及びDの表示は、ト、チ、リ、ヌによる。) ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要宿泊室Aの室名(A1~A6) チ. 宿泊室Bの室名(B1~B9) リ. 宿泊室Cの室名C ヌ. 宿泊室Dの室名D ル. 代表的宿泊室A、宿泊室Bと、宿泊室C及び宿泊室Dの室内プラン ヲ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 ワ. オープンスペース及び大浴室専用庭園の位置 ④ 平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。)及び車寄せ ハ. ドライエリアの位置(ある場合のみ) ニ. 通路、植栽等
(2) 地下1階平面図 1/200	⑤ 1階平面図には、地下1階の屋根、ひさし等となる部分を図示又は記入する。
(3) 1階平面図 1/200	⑥ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 1階の屋根、ひさしとなる部分 ハ. 2階の屋根形状(軒先、棟等を一点鎖線で図示する。)
(4) 2階平面図 1/200	
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホール1及び風除室を含む南北方向とし、建築物の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 前面の遊歩道(標高200m)をGLとした建築物の高さ、階高、天井高、地下1階の床高、主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

### 2. 面積表(答案用紙Iに記入)

地下1階~地上2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - オープンスペースの利用方法について工夫したこと
  - 建築物内部のゾーニング計画及び動線計画について工夫したこと
  - 車寄せから1階風除室に至るレベル差対処及び宿泊室Cの内部においてバリアフリーの観点から工夫したこと
- 構造計画について、次の①~④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式とこれらを採用した理由
  - 勾配屋根の架構計画について、その特徴及び特に工夫したこと
  - 斜面地における基礎計画について工夫したこと
  - 北側前面道路と1階床高の高低差について工夫したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物において採用した空調方式とその理由及び工夫したこと
  - 環境負荷低減手法として、「太陽熱」、「地中熱」、「井水」のうちから2つ選択し、これらの利用方法及びその省エネルギー効果について考慮したこと

試験場	受験番号	氏名